

問題はなぜ解決しないのか

－旧統一教会と日本社会

2023年10月6日

東京 日比谷図書館

北海道大学大学院 櫻井義秀

1

- 2022年7月8日に安倍晋三元首相が、旧統一教会（世界平和統一家庭連合）に恨みを抱く青年によって殺害されて以降、①教団による霊感商法や過度の献金要請の被害が注目され、②旧統一教会他の教団二世信者による家庭内の安全や信教の自由を求めるクレームが出され、③特定政党と特定教団の癒着が社会問題化された。
- ①については法人等不当勧誘防止法が制定され、②では厚生労働省による「宗教の信仰に関する児童虐待への対応指針」が全国の自治体に通知されたものの、③の問題は論議の渦中にあり、文部科学省による「宗教法人の解散命令の請求」を見すえた旧統一教会への質問権の行使も結論までに時間を要している。
- 本講演では、①～③の問題がどこまで進展したか、解決にはどういう課題があるのかをわかりやすく説明し、マスメディアや当事者・関係者が求める「問題の解決」に至らない日本社会の根本的な問題について議論します。

2

櫻井義秀 の 研究領域



タイ・東アジアの宗教文化研究

- ・タイの上座部仏教研究
- ・中国のキリスト教、 韓国の キリスト教・新宗教



カルト問題研究・新宗教研究

- ・統一教会、 摂理、 オウム真理教
- ・日本の新宗教：創価学会



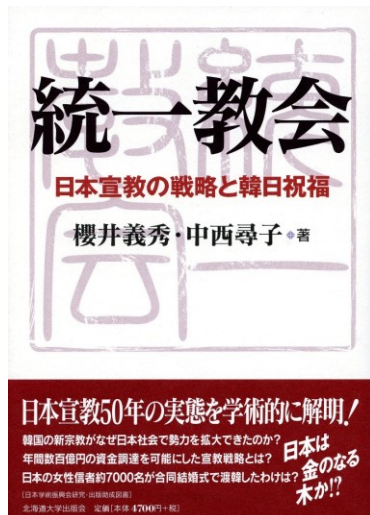
ウェルビーイングと宗教

- ・主観的幸福感を高める諸要因
- ・死の臨床とケア

3

3

2010年



2023年



4

構成

- 1 統一教会問題が提起されて1年
 - 問題は解決されたのか
- 2 解決されない問題群を検討する
 - 難題には難題となったわけがある
- 3 宗教リテラシーが必要とされるわけ
 - さまざまな宗教リテラシー
 - 宗教者/仏教者に求められるリテラシー

5

問題は解決されたのか

- ①霊感商法や過度の献金被害
 - 法人等不当勧誘防止法が制定
- ②「宗教二世」による安全や信教の自由を求めるクレーム
 - 厚生労働省による「宗教の信仰に関する児童虐待への対応指針」
- ③特定政党と特定教団の癒着が社会問題化
 - 論議の渦中/「宗教法人の解散命令の請求」-質問権の行使

6

未解決になっている問題群

- 法人等不当勧誘防止法
- – 信教の自由の保障/禁止行為
- 未解決の問題
 - これまでの被害回復 法テラス他相談
 - 全国統一教会被害対策弁護団 集団交渉と調停 元信者など108人 35億円
 - マインド・コントロールが盛り込まれなかった
 - 短期・長期のマインド・コントロール/宗教的人格権－財産権

7

- 宗教の信仰に関する児童虐待への対応指針
 - 行政・学校・児童相談所など「虐待」に躊躇せず対応
- 児童虐待
 - 虐待しているのは親か教団か
 - 児童虐待防止法
 - 児童虐待防止法 第二条 「この法律において、「児童虐待」とは、保護者がその監護する児童（十八歳に満たない者）について行う次に掲げる行為をいう。
 - これを前提にすると、保護者が所属する団体の組織の責任が問えるのか？
 - 統一教会 合同結婚 エホバの証人 輸血拒否 など 18歳以上でありうる
 - 子どもが親や育った環境から忌避・排斥されることを恐れ、離脱できない問題
- 宗教二世問題の射程の長さ

8

- 特定政党と特定教団の癒着
 - 自民党の調査 ガバナンス・コードの強化？
 - メディアによる接点 調査 一段落 その次は？
- →この問題は、創価学会＝公明党 ほか 選挙時を含む政治家の活動において諸宗教関係者との接点などの問題はないのか？
- 宗教法人の解散命令の請求-質問権の行使
 - 1996年の宗教法人法改正以後、初の質問権行使
 - 7回目で終了 質問への回答がない項目が多数あったとして、9月上旬に教団の代表役員に過料
 - 10月中旬にも解散命令を請求する （朝日新聞9月3日）

9

宗教法人として解散すれば問題は解決するのか？

- 解散命令の請求
 - 改善 宗教法人でなくなる 社会的信用の喪失→政治家との関係が激減
 - 解決ではない しかし、関連団体・任意の宗教団体として数十年存続する
 - 損害賠償請求の困難性 法人がなくなった場合、どうなるのか？
- 解決を言えば
 - 韓国への送金をやめる→日本の植民地支配に対する永遠の贖罪をやめる→統一教会の教え・文鮮明の言い分おかしいと思う→信者をやめる（信教の自由に大いに踏み込むことになる しかし議論すべきこと）
 - 統一教会信者の人たちといかにつきあい、議論し、日本社会として問題の落ち付け所を、お互いに見つけないといけない。

10

10

宗教リテラシーが必要とされるわけ

- 立法・行政的対応では限界がある
 - 究極の措置としてのカルト規制法は可能か？
 - 反セクト法の難題/マインド・コントロールは診断可能か？
 - 政治家に何を期待するのか？
 - メディアの忖度（政治家・オーディエンス双方へ）監視役にも限界/政治家の行動原理と選挙の仕組み－支援者至上主義
- 市民社会・民主主義社会の主役は誰か？
 - 法？官僚？公務員？ 専門家－制度化されている領域での行動
 - 未だ制度化/可視化されていない 社会問題/被害
 - 宗教の社会的役割とは何か？

11

宗教リテラシーは誰に必要なのか？

- カルト問題の渦中の人たち（教団幹部・信者・元信者・二世信者・関係者・支援者）
 - 統一教会信者/二世信者 教団の客観視 信仰の内省が必要
 - 元信者・関係者・支援者 「被害」クレームの適切化＋なぜ、このような問題に巻き込まれたのかという客観化と内省
 - 学者・メディア・支援者 問題の適切な認識なしに処方箋はつukれない
- 一般市民
 - カルト問題に巻き込まれないために/情報資本主義社会において、マインドコントロールされない 被害者にも加害者にもならないために
- 宗教者
 - 何ができるか 何が求められているのか

12

宗教リテラシーの例 これまでは

- 1 筆者の使用例（カルト問題との関連で）
 - カルト対策としての宗教リテラシー教育 櫻井義秀 現代宗教 / 国際宗教研究所 編 2007 300-321, 2007
 - 宗教リテラシーと現代仏教 信教の自由を守るために（全仏617号）
- 2 宗教リテラシー向上委員会
 - キリスト教新聞
 - 直に接して「知識」から「理解」へ 小村明子 2023年1月21日
 - フランスのライシテと「宗教リスク」 田中浩喜 2023年2月11日
- 3 一般の方
 - カルト勧誘を断るためには、宗教リテラシーって必要だよ
 - 宗教を学ぶメリット（①カルト対策になる②多文化理解になる（国際的だけでなく、多様な価値観に寛容になる）③心が折れそうな現実に直面したとき、立ち直る処方箋になる）

13

13

宗教リテラシー 定義と理解

- リテラシー
 - 原義：読み書きできること
 - 現代：ある分野に関する知識や能力を活用する力
 - →宗教リテラシーとは、宗教に関する知識や能力を**活用する力**
- コモン・センス
 - 常識・良識 ※福翁百話（1897）〈福沢諭吉〉三九 「所謂常識(コンモンセンス)を備へて平生の心掛け迂闊ならざれば世を渡ること甚だ易し」
- 宗教リテラシー：知識を活用する力 + **良識や規範意識を持つ**

14

14

宗教リテラシーの諸相

1) 無宗教/無信仰を自認する日本人のためのリテラシー

• 宗教文化と無縁で生活することはできないことの自覚

- 一生老病死 葬儀・法事 やるかやらないか、やるならどうするか 墓は維持するのか？
- 一家族が「カルト」に入信したとき どう対応するのか？ 信教の自由を認めるか？
- 一隣人との付き合い・作法 統一教会信者の方々 海外の方々 どうするか？

15

2) 若い世代のための宗教リテラシー

• あたま・こころが柔軟なうちに学習してもらいたいこと

- 歴史認識の貧困こそ 統一教会問題深刻化の要因

- 日本では統一教会信者のみならず、多くの市民が植民地支配の実態や日韓双方の歴史認識の相違、1995年の村山談話やアジア女性基金など政府・民間の対応について知らない。高校生までの公教育において東アジアの近現代を日本史や世界史の授業で時間を割いて教えてこなかったためである。そんな日本人が突然統一教会に誘われ、一方的な歴史観を教えられ、罪の意識を喚起され、贖罪を求められたときに、善良な人ほどその言説を信じ、責任を感じてしまう

16

附論1 情報化・IT時代のリテラシー

- DX時代 AI云々
 - 情報の複製・生成技術の日進月歩 ChatGPT レポート作成
 - ソサイエティ5.0 リテラシー 不要 自動化・最適化
- 陰謀論 隆盛
 - アメリカ大統領選 Qアノン/ コロナ・ワクチン 神真都（やまと）
Q会
 - 宗教 から 陰謀論 信奉集団の生成
- 現代社会
 - マス/パーソナル情報の拮抗、インフルエンサー、同質化/軸がズレる
 - こうした情報社会で個人のリテラシーなしに、国家・情報産業に将来を委ねるのはリスクではないか

17

17

附論2 リテラシーはどうすると身につくか？ 比較宗教社会学のすすめ

- 宗教というものは、これだけと考え込むといいことはあまりない。
- 比較することで、特徴がわかる
 - 世界の諸宗教
 - 東アジアの宗教政策
 - 現代日本の宗教
- 統一教会 カルト問題を見て 宗教はこりごりにならないで
 - 世間的なしがらみ、常識を超えたところで、束縛から自由になる
 - 適切な宗教理解を広げるために、宗教学、宗教者の課題は多い

18

18

政治と宗教



カルト論



19

19

参考文献

- カルト問題関連
- 櫻井義秀, 2009(Kindle版) 『霊と金—スピリチュアル・ビジネスの構造』新潮社。
- 櫻井義秀・中西尋子, 2010/2022第4版(Kindle版) 『統一教会—日本宣教の戦略と韓日祝福』北海道大学出版会。
- 櫻井義秀・大畑昇編, 2012『大学のカルト対策』北海道大学出版会。
- 櫻井義秀, 2014『カルト問題と公共性—裁判・メディア・宗教研究はどう論じたか』北海道大学出版会。
- 櫻井義秀編, 2015, 『カルトからの回復—こころのレジリエンス』北海道大学出版会。

櫻井義秀, 2023 3月 『統一教会—性・カネ・恨（ハン）から全貌に迫る』中公新書。

櫻井義秀・猪瀬優理編, 2023 4月 『創価学会—政治宗教の成長と隘路』法蔵館。

櫻井義秀, 2023 5月 『信仰か マインドコントロールか—カルト論の構図』法蔵館。

20

ご清聴有り難うござ
いました。

櫻井義秀
saku@let.hokudai.ac.jp

21